

駅家北学区駅家東まちづくり推進委員会

委員長 豊田 真人

（問合せ先） 駅家東公民館 084-972-4842

事業内容

- (1) ふれあい教養講座（通年）－（事業例：「おとなが楽しむかんたん英語絵本」「フラワーアレンジメント」「スマホサロン」「すこやかウォーキング」（延べ130人）
- (2) 子ども育成事業（通年）－ ソフトボール，フットボール
- (3) 郷土文化保存活動（通年）－ ふるさと発見活動（公民館広報誌「郷土（ふるさと）への掲載，ふるさと発見マップ改訂，「山の神古墳」整備）
- (4) ばら育成活動（通年）－ 服部大池ばら花壇整備（延べ60人）
- (5) コミュニティ育成－ ごみ分別啓発，納税推進活動，環境整備活動
- (6) まちづくり推進委員会運営事業－ まちづくり推進についての企画，運営会議
- (7) 地域の環境づくりに取り組む事業－ ごみステーション整備，小豆田池周辺整備（9月，3月）
- (8) 交通安全・防犯・防災（通年）



「身近ウォーキング」
～見慣れた街にも新発見～



「服部大池ばら花壇整備」
～ローズマインドで絆づくり～



干支の壁飾り
～「来年は良い年で
ありますように！」～

成果

- 新型コロナウイルス感染症対策に細心の注意を払いながら，各種事業を行い，公衆衛生の認識が高まった。
- ふれあい教養講座では，興味・関心のある講座や健康増進につながる講座，スマホ講座等を企画，実施し，各自の日常生活を豊かにするとともに潤いを増すことができた。
- 公園整備事業や地域の環境づくりに取り組む事業を通して，環境改善やごみステーション，地球温暖化防止等の環境の維持，整備をすることができた。
- コロナ禍で各種事業，行事が中止になり，地域住民同士のコミュニケーションが減少したが，逆にその大切さに気付くことができた。

課題

- コロナ禍での一年となり，地域住民同士のコミュニケーションが減少した。

課題解決にむけて

- 新型コロナウイルス感染症対策として，今後新しい生活様式や新しいまちづくりを創造していくことが必要である。

身近な史跡を「マップ」で伝承

今から11年前、地域住民が郷土の歴史を知り、まちづくりに生かすために「駅家東学区ふるさと発見マップ」を作成しました。その後、史跡巡りラリーに多くの子どもたちや地域住民が参加し、改めて悠久の歴史を実感したものと思います。2020年4月には、小学校再編により駅家北小学校が開校しました。また、ふたば保育所、福山北特別支援学校の新設など地域の公共施設などが新しくなりました。2021年度には福山北産業団地2期造成工事が始まるなど駅家東地域はさらに変遷していくことが予想されます。



解説付きの地域発見マップ

この地域は、温暖で大きな自然災害ありません。古より人々が住んでいた証として、巨大古墳群や古代山陽道、中世戦国時代の山城址、数多くの寺社仏閣、史跡などが点在しています。この度、改めて私たちが住むふるさとを再認識し、地域固有の歴史遺産を次代に継承するために「駅家東ふるさと発見マップ」を改訂しました。詳しくは、駅家東公民館にお問い合わせください。なお、駅家東公民館のホームページにも掲載しています。

駅家東公民館 検索

「山の神古墳」憩いの場に～コロナ禍を越えて～

2020年度は「新型コロナウイルス」の影響で、地域のイベントが中止・延期になったりしました。「コロナ禍であっても、むしろコロナ禍だからこそ地域を見直し、地域住民の絆を強めたい！」との思いで、感染対策をしっかりとしながら「まちづくりの活動」を行ってきました。約10年間整備をしていなかった古墳でしたが、12月、「駅家東ふるさと発見の会」をはじめとした地域住民有志10人ほどが雑木や竹の伐採、草刈りを始めました。古墳上部に登る斜面には木で足場を作り、ロープや竹で転落防止の策を設置しました。看板や手作りの杖も入り口付近に置きました。以前は木立で見えなかった古墳の全体が3月には一望できるようになりました。高さ3.3mもある石室に入るとその大きさが実感できます。往時の姿が復活した古墳には親子連れがピクニックで立ち寄ったり、地元の小学生が見学で訪れたりしています。駐車場も整備したので、町外から訪れる人も増えています。今後、定期的に清掃活動続けていく計画です。

なお、「駅家東ふるさと発見の会」では、会員を募集しています。フェイスブックに活動状況や研修案内を掲載しています。ご覧ください。※



駅家東ふるさと発見の会

と入力



崖の草刈りは怪我をしないよう慎重に



竹の伐採・草刈り



「駅家東ふるさと発見の会」メンバー